



東京

オリンピック

柏小学校 6-1

牧野 達也

目次

- きっかけ ... 2
- 調べかた ... 2
- 1964年オリンピック ... 3
- 2020年オリンピック ... 4
- 1964年大会と2020年大会の比較... 5
- 1964年と2020年の日本の状況のちがい
... 7~8
- 1964年東京オリンピックの聖火台 ... 9
- 2020年東京オリンピックの聖火台 ... 11
- メイド・イン・ジャパン ... 12
- ヒートグラム ... 13~15
- オリンピックとテレビ... 16~18
- メダルのちがい ... 19~20
- 日本の獲得メダル数 ... 21
- まとめ ... 22
- 参考文献 ... 23



きかけ

今年の夏休みは、新型コロナウイルスの影^三郷^音で1年延其月とな、た東京オリンピック一色だ、た。テレビでは、1964年に行われた東京オリンピックの特集もしていたが、その多くは、白黒だったり、みるからに古そうな映像だった。

祖父に1964年の東京オリンピックの話を聞くと、祖父は当時、今のぼくと同じ12歳だったことを知った。

同じ12歳でむかえた「東京オリンピック」を比較しながら調べてみることにした。

調べ方

1. 図書館の本
2. インターネット
3. 祖父、知人からの聞き取り

1964年 東京オリンピック

1964年(昭和39年)に開催された東京オリンピックは、アジアで初めて開催された第18回夏季オリンピック競技大会。

実は1940年に東京でオリンピックが開催予定だったが、戦争などの国際情勢により、返上となった。

東京が返上後、ロシアのヘルシンキで開催予定だったが、そのものが中止になっている。

1兆円オリンピックと呼ばれ、東海道新幹線の開通や、首都高速道路の整備、地下鉄の整備などインフラ事業においても9600億円ほどの予算を投じたといわれている。



2020年 東京オリンピック

1964年大会以来、57年ぶりに東京で開催された第32回夏季オリンピック競技大会。

新型コロナウイルス感染症の世界的流行を受け、2020年夏の開催日程が1年延期して開催された。開催年は変わったが名称は「東京2020」のまま。

開催の延期は近代オリンピック史上初で、奇数年に開催されるのも夏冬通じて史上初。一部会場を除き無観客で行われたのも初。

開会式での選手団の入場は今回初めて日本語で国・地域名を表記した50音順(あいうえお)で実施された。



1964年大会と2020年大会の比較

	1964年	2020年
日数	15日間 10月10日～24日	17日間 7月23～8月8日
競技 種目数	20競技 163種目	33競技 339種目
選手数	5152名 (男294名、女61名)	11092名 (男306名、女276名)
日本	355名	582名
参加国数	93カ国・地域	206カ国・地域
親競技	バレーボール 柔道	空手、 スケートボード スポーツクラミング サーフィン



1964年東京オリンピックの開会式が行なわれた10月10日は、1966年から国民の祝日(体育の日)になった。体育の日は2020年より「スポーツの日」に名称が変更。

2021年は、東京オリンピックの開催に合わせて「スポーツの日」の日付が変更した。

競技数も増え、また参加国や選手数が1964年当時と比べると2倍以上に増えており開催規模がかなり大きくなっている。

選手全体の49%が女性となった2020年の東京オリンピックは史上初の「ジェンダーバランス」の取れた大会となった。

ちなみに、1964年大会の女性選手の割合は15%程度で、男性のみの競技も多かった。

(柔道、スリング、自転車、バスケットボール、サッカー、身撃、ボクシング、レスリング)

1964年と2020年の日本の状況のちがい

日本の人口は、近年減少傾向にあるものの、1964年に比べると、2020年で1.25倍以上の1億、2623万人まで増加している。

また、2020年のちが、出生率は減少し、65歳以上の人口は増加していることより、高齢化社会の進行がわかる。

平均寿命においては、1964年は男67.67歳、女72.87歳のところ現在は男81.41歳、女87.45歳と大幅に伸びている。

物価については、コロッケ、中華そば、新聞代が今の10分の1に対して、バナナの価格が今とあまり変わっていないことより、バナナが高級品であったことがわかる。当時12歳だった祖父は、バナナは運動会でしか食べられなかったと言っていた。

※参考にした資料を次に添付する

東京オリンピックを迎えて 一統計でみる いまと昔 (2021年と1964年) -

前回東京オリンピックが開催された1964年は高度経済成長の真っただ中。そんな当時といまの日本の状況を御紹介します。

総務省統計局

		1964年(昭和39年)	2021年(令和3年)
人口	人口(10月1日)※1	9718万人	1億2623万人(2020年)
	合計特出生率	2.05	1.36(2019年)
	15歳未満人口割合※2	26.3%	12.0%(2020年)
	65歳以上人口割合※2	6.2%	28.8%(2020年)
	1世帯当たり人員※3	4.05人(1965年)	2.27人(2020年)
	平均寿命(0歳の平均余命)	男 67.67歳 女 72.87歳	男 81.41歳(2019年) 女 87.45歳(2019年)
家計 <small>(二人以上の世帯者世帯)※4</small>	世帯の収入(月額)	58,217円	579,127円(2020年)
	世帯の消費支出(月額)	45,511円	305,811円(2020年)
	エンゲル係数	36.0%	26.0%(2020年)
	貯蓄額	56万円	1378万円(2020年)
	負債額	7万円	851万円(2020年)
労働	労働力人口※5	4710万人	6868万人(2020年)
	就業率(15~64歳)	68.2%	77.3%(2020年)
	男(15~64歳)	83.8%	83.8%(2020年)
	女(15~64歳)	53.5%	70.6%(2020年)
	完全失業率	1.1%	2.8%(2020年)
	産業別就業者数※6		
	第1次産業	1149万人(24.7%)	213万人(3.2%)(2020年)
	第2次産業	1467万人(31.5%)	1539万人(23.5%)(2020年)
第3次産業	2038万人(43.8%)	4803万人(73.3%)(2020年)	
平均週間就業時間	47.6時間	36.6時間	
平均賃金(年額) <small>(民間の事業所に就労している給与所得者)</small>	410,400円	3,879,000円(2019年)	
物価 <small>(東京都区部の世帯平均消費)</small>	物価水準(消費者物価指数(CPI)※7による)	1.00	4.45(2020年)
	バナナ 1kg	228円	259円(2020年)
	コロッケ 100g	10.8円	109円(2020年)
	卵(10個)※8	136.2円	223円(2020年)
	中華そば(外食)	59.4円	563円(2020年)
	新聞代 1か月	450円	4,344円(2020年)
	映画観覧料 大人観覧料	221円	1,834円(2020年)
	郵便料 はがき	5円	63円(2020年)
	テレビ 1台	55,500円 (モノクロ・ブラウン管・16型)	46,504円(2020年) (カラー・液晶・32V型)
	洗濯代(ワイシャツ) 1枚	48.2円	245円(2020年)
経済 指標	GDP(名目)※9	29.5兆円	538.6兆円(2020年)
	1ドル/円(基準外国為替相場)	360円	109円(2021年6月)
	日経平均株価(12月末終値)	1,216.55円	27,444.17円(2020年)
その他	食料自給率(供給熱量ベース)※10	72%	38%(2019年)
	大学・短期大学への進学率	19.9%	58.6%(2020年)
	交通事故死に占数	13,318人	2,839人(2020年)
	平均気温(東京・8月)	27.8℃	29.1℃(2020年)
	最高気温35℃以上の日数(東京・8月)	1日	11日(2020年)
	一般職の国家公務員数※11	817,567人	281,427人(2019年)
	公衆電話数	224,386台	15,1313台(2020年)
	一人あたり医療費	9,700円	343,200円(2018年度)

※1 1964年は国勢人口、2020年は国勢調査(速報値) ※2 2015年国勢調査を基準とする推計値 ※3 1965年は世帯世帯、2020年は総世帯(速報値) ※4 1964年は「森林世帯世帯を除く世帯」の結果 ※5 労働力人口:15歳以上の人口のうち、「就業者」と「完全失業者」を合わせたもの ※6 産業別就業者数:第1次産業は農業、林業及び漁業、第2次産業は鉱業、採石業、煉炭採取業、建設業及び製造業、第3次産業は第1次・2次産業以外の産業(卸売小売業を除く)をいう。産業分類改定のため、1964年と2020年とは接続しない ※7 消費者物価指数:持ち家の補正率を除く(全国)、標準者が公表した2015年基準を、1964年が1.00となるように再計算したもの ※8 1964年は100g(1個は60g)の割合結果を10個に換算した価格 ※9 1964年は1990年基準・GDP、2020年は2015年基準・2008SNA ※10 食料自給率:国内の食料消費が、国内の農業生産でどの程度賄えているかを示す。畜産物については、国産であっても輸入した飼料を使って生産された分は、国産には算入していない。供給熱量ベース「日本食品標準成分表」に基づき、国産を供給熱量に換算したうえで、食品量を足し上げて算出。1人・1日当たり国産供給熱量を1人・1日当たり供給熱量で除したものに相当 ※11 一般職、国策的任用の職員、常勤労働者及び非常勤職員を除く

出典 ●内閣府/国勢調査(国勢) ●総務省/国勢調査・人口推計 ●総務省統計局/労働力調査・就業率・失業率・平均賃金・消費者物価指数・小売売上高・映画観覧料・新聞代・郵便料 ●国土交通省/国土交通省統計局 ●文部科学省/学校基本調査 ●厚生労働省/人口動態統計・出生率・国民健康調査 ●農林水産省/食料自給率 ●総務省/一般職の国家公務員数の任用状況 ●総務省/道路の交通に関する統計 ●気象庁

1964年東京オリンピックの聖火台

～ 知人の話もうくめて～

1964年大会の聖火台には、LPガスが使われ点火されていたこと、開会式が10月10日に行われたことの10と10が火で調理しているときの「ジュ-ジュ-」と読める語呂合わせから、のちに10月10日が「LPガス」の日になった。

1964年大会の聖火台は、大会の象徴とも言われて、戦後の復興シンボルにもなった。旧国立競技場の解体に伴い、2015年から東日本大震災の被災地である宮城県、岩手県、福島県で震災からの復興シンボルとしても活用・展示された。

そんなすごい聖火台を作るのに携わった人が、祖母の知り合いにいた。そこで、少し話を聞いてみた。

そのおじさんは、聖火台のガスの配管やバルブ装置に関わっていた会社で、社員で、テスト点火の際は、すぐ近くで見たと、教えてくれた。聖火台のガスのバルブを開くのは手動で、火をつけるタイミングと合わせる練習を何度もしていたのを見ていたそうだ。おじさんは当時、静岡県に住んでいたため、オリンピック前は出張で東京に行くことが多かったようだが、1964年大会に向けての東京の発展は凄まじいものだったと言っていた。おじさんは、オリンピックを見ると1964年当時のことを思いだし、なつかしい気持ちになるらしい。



2020年東京オリンピックの聖火台

聖火台にはこれまでプロパンガスを使用していたが、2020年大会では水素を燃料として使用。

燃えても二酸化炭素を出さない水素を使うことで、温暖化の原因となる二酸化炭素の排出が少ない「脱炭素社会」の実現をアピールした。



メイド・イン・ジャパン

世界の注目を集めた1964年東京オリンピックは、日本の技術力を海外に知らしめるきっかけにもなった。

たとえば、タイム計測の技術。

精密時計と言えは当時はスイス製のものが中心だったが、1964年東京オリンピックでは、1000個を超える国産時計が活躍。

いまでは当たり前となった水泳の電子式自動審判装置「タッチ板」がお目みえしたのも、実は1964年東京オリンピックが初めてだった。

メイド・イン・ジャパンが競技判定や記録送信の電子化を一気に押し進めた。

そのため、1964年東京オリンピックは「科学のオリンピック」とも言評された。

ピクトグラム

今年7月23日に行われた2020年東京オリンピックの開会式でも、登場して話題になった「ピクトグラム」。その誕生は1964年東京オリンピックだと言われている。

当時、外国人を想定した用意はほとんどなく、東京オリンピックの応援に訪れた外国人に、言葉がわからなくても伝わる表示として生まれた。

男女の区別も一目でわかるトイレのピクトグラムも日本が発祥。

こうして今や、オリンピックの中だけでなく、日常的に使われており、世界にも広まるとされている。

2020 東京オリンピックのピクトグラムに、今回、ぼくがテレビで見つけた競技に印をつけてみた。(次のページ)



3x3 バスケットボール



アーチェリー



体操競技



アーティスティック
スイミング



陸上競技



バドミントン



野球・ソフトボール
野球



野球・ソフトボール
ソフトボール



バスケットボール



ビーチバレーボール



ボクシング



カヌー スラローム



カヌー スプリント



自転車競技
BMX フリースタイル



自転車競技
BMX レーシング



自転車競技
マウンテンバイク



自転車競技 ロード



自転車競技トラック



飛込



馬術 馬場馬術



馬術 総合馬術



馬術 障害馬術



フェンシング



サッカー



ゴルフ



ハンドボール



ホッケー



柔道



空手 形



空手 組手



マラソンスイミング



近代五種



新体操



ボート



ラグビー



セーリング



射撃



スケートボード



スポーツクライミング



サーフィン



競泳



卓球





テコンドー



テニス



トランポリン



トライアスロン



バレーボール



水球



ウエイトリフティング



レスリング

TOKYO 1964

初めて登場したシグナルグラム



Aquatics



Athletics



Baseball



Boxing



Canoe



Cycling



Equestrian



Fencing



Football



Gymnastics



Hockey



Judo



Modern Pentathlon



Rowing



Sailing



Shooting



Volleyball



Water Polo



Weightlifting



Wrestling



オリンピックとテレビ

☆ テレビ放送の高度化

オリンピックにおけるテレビ放送は、電波、ケーブルなどの送電技術、衛星を経由した送信技術の驚ましい進歩により、世界中に同時放映されるようになった。

1964年の東京オリンピックは衛星を基地とした中継が初めておこなわれた。

現在はカメラの性能、位置などの改良が重ねられ、水中カメラ、空中カメラ、自走式カメラ、バイクからの映像、ドローン、ヘリコプターなどからの映像が可能になった。

☆衛星放送とカラー放送

オリンピックがテレビで中継されたのは1936年にドイツで開かれたベルリン大会が最初。しかし現在のようにどこでも見られたわけではなく、選²手村や、ベルリン市内の劇場など全25ヶ戸の特設受像ホールでのみ見る事ができた。

それから28年後の1964年東京オリンピックでは宇宙に打ち上げられた通信衛星シンコム3号を経由して、オリンピックの映像が初めて世界に宇宙中継された。そして、オリンピック史上初めて、開会式、レスリング、バレーボール、体操、柔道など8競技がカラー放送された。

これにより、国内のカラーテレビは一気に普及し、競技をVTRで収録して、それを再生するスローモーションVTRなどの新しいテレビ技術が登場した。

ちなみに、当時は12歳だ。た祖父の家には、すでにテレビがあった。たが白黒テレビだったそうだ。祖父の住んでいた地域ではテレビがあるのは珍しいことで、テレビを見るために、近所の人々が家に来たらしい。

一家に一台以上テレビがあったのか、あたり前の現在からは、まったく想像できない光景である。



メダルのちがひ

	1964年	2020年
直径	60mm	85mm
厚さ	3mm	7.7~12.1mm
重さ		
(金)	90g	556g
(銀)	82g	550g
(銅)	69g	450g

東京2020では、使用済み携帯電話を全国から提供してもらい、集めたリサイクル金属を原材料にメダルを制作する「都市鉱山からくる！みんなのメダルプロジェクト」を行った。

このような取り組みは、大会史上初。

東京2020オリンピックメダル（おもて面）



東京2020オリンピックメダル（うら面）



日本の獲得メダル数

	金	銀	銅	合計
1964年	16	5	8	29
2020年	27	14	17	58

1964年大会から競技数が増えていることもあるがメダルの獲得数は2020年大会では2倍の大活躍だった。

今回の2020大会で、ぼくが一番印象に残ったのは、卓球の混合ダブルスの金メダル。

1964大会で祖父が一番印象に残ったのは、体操男子個人総合・団体総合・体操男子平行棒で金メダルを取った遠藤幸広選手。

まとめ

今回、1964年東京オリンピックと2020年東京オリンピックを比較しながら調べていく中で、1964年の東京オリンピックがあつたからこそ、今の日本ができたのだとあかつた。

オリンピックについて調べていたため、2020年東京オリンピックに興味を持ってみる事ができ、今まで知らなかつた競技も楽しんで観戦することができた。

同じ12歳でむかえた東京オリンピックだが、祖父の時代(1964年)と、ぼくの時代(2020年)では、オリンピックの内容はもちろん、日本の状況もちがひおどろいた。

また、いつか、日本のどこかでオリンピックが開催されることを楽しみにまっていたい。

参考文献

- オリンピックをささえるスポーツ・テクノロジー
- 日本の歴史 5
- 地図と写真で見る 東京オリンピック 1964
…全て市立図書館

• インターネット

- <https://www.kaigo-kyuujin.com/oyakudachi/topics/64397/>
- <https://2020.yahoo.co.jp/minnano2020/yahoo/111>
- <https://ansyobunka.jp/top/mainevent/sato-jmg/olympic.jpg>
- www.stat.go.jp/info/pdf/2021hikaku.pdf